

(様式第 9)

山口大学
平成 21 年 1

厚生労働大臣

殿

開設者名 松崎 益

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 20 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	32	人
--------	----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	237 人	79.2 人	316.2 人	看護業務補助	30 人	診療エックス線技師	人
歯科医師	10 人	9.6 人	19.6 人	理学療法士	6 人	臨床検査技師	45 人
薬剤師	36 人	0.8 人	36.8 人	作業療法士	3 人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	5 人	その他	人
助産師	21 人	人	21 人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	581 人	23 人	604 人	臨床工学技士	10 人	医療社会事業従事者	2 人
准看護師	1 人	人	1 人	栄養士	3 人	その他の技術員	25 人
歯科衛生士	1 人	0.8 人	1.8 人	歯科技工士	1 人	事務職員	194 人
管理栄養士	8 人	人	8 人	診療放射線技師	30 人	その他の職員	37 人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	586.9 人	15.9 人	602.8 人
1日当たり平均外来患者数	1,320.6 人	49.5 人	1,370.1 人
1日当たり平均調剤数		2,278	剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数 (毎日の 24 時現在の在院患者数の合計) を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・無	1人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅶ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜瘢痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷瘢痕その他の重症の瘢痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・無	8人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・無	人
神経芽腫のRNA診断	有・無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・無	人
腓腫瘍に対する腹腔鏡補助下腓切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マンツル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植 (HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術 (頸椎椎間板ヘルニア (画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの (後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断 (水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療 (慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病 (従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの) に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 (双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例 (妊娠十六週から二十六週に限る。)) に係るものに限る。)	有・無	24人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法 (肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断 (ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法 (四肢の骨折 (治療のために手術中に行われるものを除く。)) のうち、観血的手術を実施したもの (開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。)) に係るものに限る。)	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテナーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法 (ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存 (骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性 (欠損性又は感染性偽関節に係るもの) に限り、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時 (初回又は再置換術時に限り。)) の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術 (難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの) に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価 (骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍掻爬術後若しくは骨髄炎掻爬術後の症状に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術 (間質性膀胱炎に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法 (歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術 (人工股関節のたるみに係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術 (直腸脱に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建 (骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション (原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法 (腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍 (食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん) に係るもの) に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	18人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。)	有・無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はヒオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	<input checked="" type="checkbox"/> ・無	0人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・無	人
光トポグラフィ検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小臼歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは白蓋骨折に係るものに限る。)	有・無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	27人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIH)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。))に係るものに限る。)	有・無	2人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	27人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	35人
・多発性硬化症	47人	・ウェゲナー肉芽腫症	6人
・重症筋無力症	48人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	33人
・全身性エリテマトーデス	91人	・多系統萎縮症	15人
・スモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	23人	・膿疱性乾癬	4人
・サルコイドーシス	43人	・広範脊柱管狭窄症	10人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・原発性胆汁性肝硬変	35人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	76人	・重症急性膵炎	3人
・特発性血小板減少性紫斑病	53人	・特発性大腿骨頭壊死症	62人
・結節性動脈周囲炎	7人	・混合性結合組織病	14人
・潰瘍性大腸炎	125人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	14人	・特発性間質性肺炎	5人
・ピュルガー病	28人	・網膜色素変性症	16人
・天疱瘡	12人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	27人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	70人	・神経線維腫症	9人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	9人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	139人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	73人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	2人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	CPC 8回, 胸部カンファレンス 11回, 23症例		
剖検の状況	剖検症例数	33 例	剖検率 15.0 %

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

1/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝硬変に対する自己骨髄細胞の線維化溶解メカニズムの解明と癌病変への影響について	坂井田 功	第一内科	4,400,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
血管観察トランスジェニックメダカを用いた非アルコール性脂肪性肝炎の病態解析	坂井田 功	第一内科	1,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
高輝度白色LED技術を基盤とする低侵襲治療機器の開発(肝臓再生療法に有用な間葉系幹細胞自動分離装置の開発)	坂井田 功	第一内科	48,000,000	補 委 財団法人やまぐち産業振興財団
肝発癌抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究	坂井田 功	第一内科	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
転写因子アイディ2の発現に基づく肝癌に対する新規化学療法の開発	飯塚 徳男	第一内科	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
鉄キレート剤による新たな進行肝細胞癌治療の開発	山崎 隆弘	第一内科	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
小型水棲生物の栄養代謝測定手法に関する研究	寺井 崇二	第一内科	4,298,700	補 委 独立行政法人宇宙航空研究開発機構
C型慢性肝炎の肝発癌における肝ミトコンドリア障害の意義	是永 匡紹	第一内科	1,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ラットモデルを用いた新規肝性脳症モデルの開発と解析	瀬川 誠	第一内科	1,200,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
細胞内ナドメイン機能制御による心不全治療法の開発	松崎 益徳	第二内科	10,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
光技術を基盤とする高性能診断機器の開発(近赤外線、超音波等を利用する高性能動脈硬化診断システムの開発)	松崎 益徳	第二内科	56,000,000	補 委 財団法人やまぐち産業振興財団
慢性心不全におけるメタボリック症候群の意義に関する研究	松崎 益徳	第二内科	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
突発性心筋症に関する調査研究	松崎 益徳	第二内科	1,100,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
リアノジン受容体内シグナル伝達 改善による新しい心不全・不整脈 治療法の開発	矢野 雅文	第二内科	8,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
心不全発症機序に関する基礎的 および臨床的検討	矢野 雅文	第二内科	1,500,000	補 委 国立循環器病セン ター
ギャップ結合リモデリングの制御を 標的とした不整脈の新しい治療の 開発	大草 知子	第二内科	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
リアノジン受容体分子内特定ドメイ ンをターゲットとした致死的不整 脈の新しい治療	山本 健	第二内科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
冠動脈粥腫の不安定性を定量評 価しうるマルチファンクショナル血 管内エコー法の開発	廣 高史	第二内科	1,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞内カルシウム放出制御による 新しい悪性高熱症・不整脈の治 療開発	小林 茂樹	第二内科	1,800,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
糖尿病を進行させるβ細胞死のメ カニズム解明と治療法の開発	谷澤 幸生	第三内科	5,900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
小胞体ストレスによるインスリン分 泌障害と糖尿病治療法開発	谷澤 幸生	第三内科	4,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
糖尿病診療均てん科のための標準的 診療マニュアル作成とその検証ーガ イドラインを実用化するためのシステ ム・体制整備の視点から	谷澤 幸生	第三内科	1,400,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
新規GLUT4結合蛋白による新た なインスリン依存性糖取り込み調 節機構の解明	奥屋 茂	第三内科	1,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
新規糖輸送促進蛋白CLIP170 の機能解析	江本 政広	第三内科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

3/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
血液脳関門・血液神経関門を標的とした難治性神経疾患発症機構の解明と新規治療法開発	神田 隆	神経内科	4,200,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
三次元的ヒト血液脳関門モデルの構築:抗アミロイド抗体作用機序の解明	神田 隆	神経内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
免疫制神経疾患に関する調査研究	神田 隆	神経内科	1,200,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
オリゴ糖複合体形成に伴う分子相同性:カンピロバクター感染後性神経疾患での証明	古賀 道明	神経内科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ストレス脆弱性モデル動物における神経形態学的変化と神経可塑性異常の検討	渡邊 義文	精神科神経科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒトを対象にした精神疾患の生物学的病態解明に関する研究	渡邊 義文	精神科神経科	3,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	渡邊 義文	精神科神経科	870,000	補 委	国立精神・神経センター
気分障害の薬物治療反応予測に関する生物学的指標の検索	渡邊 義文	精神科神経科	1,100,000	補 委	国立精神・神経センター
気分障害の発症機序における選択的スプライシング異常の検討	内田 周作	精神科神経科	2,200,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
プライマリーケアで使用可能な、DNAチップを用いたうつ病の診断指標の作成	内田 周作	精神科神経科	2,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
双極性障害における選択的スプライシング機構異常と薬物治療反応性に関する研究	江頭 一輝	精神科神経科	1,900,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
気管支喘息での単球マクロファージのロイコトリエン受容体の気道リモデリングへの関与	市山 高志	小児科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

4/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究	市山 高志	小児科	1,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	市山 高志	小児科	1,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	市山 高志	小児科	2,500,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
心筋幹細胞の由来の同定と心筋再生治療への応用	濱野 公一	第一外科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
自己骨髄細胞移植による血管再生療法の治療効果を予測するシステムの確立	濱野 公一	第一外科	6,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
低酸素プレコンディショニングによる骨髄細胞の血管再生能の増強と臨床への展開	古谷 彰	第一外科	5,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メカニカルストレスが心筋再生に及ぼす影響とその分子・細胞学的機序の解明	美甘 章仁	第一外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Inflammasome抑制による薬物的大動脈瘤根治療法の開発	吉村 耕一	第一外科	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
虚血プレコンディショニングによる心筋保護作用の機序の解明——幹細胞の視点から	森景 則保	第一外科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
I 期原発性肺腺癌におけるDNA損傷応答蛋白発現の臨床的意義	田中 俊樹	第一外科	1,400,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
TGF- β シグナル系に着目した急性大動脈解離の発症機序の解明とその治療法の開発	小林 俊郎	第一外科	1,900,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
肝癌データベースに基づく早期肝癌特異的メチル化遺伝子の同定と機能解析	岡 正朗	第二外科	1,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

5/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝癌の網羅的遺伝子および蛋白解析に基づく新規診断と創薬の研究開発	岡 正朗	第二外科	4,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
大腸癌化学療法における抗癌剤の毒性と患者の遺伝子多型に関する研究	裕 彰一	第二外科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
光技術を基盤とする高性能診断機器の開発(遺伝子解析データベースを基盤とした肝癌における個別化医療システムの開発)	岡 正朗	第二外科	64,000,000	補 委 財団法人やまぐち産業振興財団
術後補助化学療法におけるフッ化ピリミジン系薬剤の有用性に関する比較臨床試験(治癒切除直腸癌に対するUFT療法とTS-1療法比較検討)	岡 正朗	第二外科	189,000	補 委 財団法人がん集学的治療財団
StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	岡 正朗	第二外科	1,890,000	補 委 財団法人先端医療振興財団
科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進 遺伝子・細胞治療に携わる臨床研究者育成	岡 正朗	第二外科	5,007,480	補 委 文部科学省
良いシーズをつなぐ知の連携システム(つなぐしくみ) 細径管と管腔臓器を吻合する外科用吻合補助器の実用化	上野 富雄	第二外科	3,000,000	補 委 独立行政法人科学技術振興機構
DNA修復酵素ーメチルグアニンメチル基転移酵素をターゲットとした膵癌分子標的治療	上野 富雄	第二外科	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
プロテオーム解析を用いた膵癌の発癌関連蛋白質の検討と早期診断マーカーの検出	高島 元成	第二外科	1,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	田口 敏彦	整形外科	1,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
医療機器市販後安全情報の医療機関等への情報伝達手段等に関する研究	田口 敏彦	整形外科	900,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
他人からの手、足同種移植の臨床応用に向けてーキメラリズムによる安定した免疫寛容獲得	村松 慶一	整形外科	1,900,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

6/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乾癬発症関連遺伝子群の解明と最適化治療開発への応用	武藤 正彦	皮膚科	800,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と治療法の開発等に関する研究	武藤 正彦	皮膚科	1,100,000	補委 山口県
中心体複製異常を指標とした新しい膀胱癌の診断治療方針決定システムの確立をめざして	松山 豪泰	泌尿器科	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝子多型が腫瘍の進展・予後および腫瘍細胞の癌関連遺伝子変化に及ぼす影響	坂野 滋	泌尿器科	500,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
眼組織の再生に関する研究	西田輝夫	眼科	5,000,000	補委 独立行政法人科学 技術振興機構
角膜上皮創傷治癒過程における神経ガイダンス因子の機能解析	高 知愛	眼科	2,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
角膜ヘルペス患者涙液及び前房水中の単純ヘルペスウイルス由来タンパクの検出	山田 直之	眼科	1,600,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
春季カタルの巨大乳頭形成におけるMCP-1の作用機序に関する検討	藤津 揚一朗	眼科	2,000,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
創傷治癒過程における角膜実質ネットワークと細胞動態の評価	森重 直行	眼科	1,200,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
環境酸素濃度に対する角膜構成細胞の増殖, 細胞死, 細胞機能に関する研究	柳井 亮二	眼科	1,700,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
熱ショック応答による内耳保護機構の解明と臨床応用	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
前庭機能異常に関する調査研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

7/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
いびきの音響解析と三次元CTによる睡眠呼吸障害患者の上気道閉塞部位診断法の確立	原 浩貴	耳鼻咽喉科	3,000,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
内耳障害時のミトコンドリアにおけるシグナル伝達の役割	菅原 一真	耳鼻咽喉科	1,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
活性酸素を介した生殖戦略:黄体機能調節における生理活性物質としての活性酸素の役割	杉野 法広	産科婦人科	2,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
化学物質の子供への健康影響に関するエピジェネティクス評価法の開発	杉野 法広	産科婦人科	4,000,000	補 委 厚生労働省 科学研究費補助金
腫瘍抑制性セルピンであるマスピンの子宮頸癌の進展制御機構に関する研究	縄田 修吾	産科婦人科	1,700,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
SCC抗原の結合分子の検索と機能解析、臨床的意義の解明および分子標的治療への応用	村上 明弘	産科婦人科	2,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
高気圧酸素による虚血耐性誘導を応用した脳血管障害の新規予防・治療戦略の開発	坂部 武史	麻酔科蘇生科	3,200,000	補 委 文部科学省 科学研究費補助金
エリスロポエチンとインスリン様成長因子1の脊髄保護効果の検討とシグナル伝達の解明	松本 美志也	麻酔科蘇生科	1,600,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
全身の炎症反応が脳虚血および低体温による脳保護効果へ及ぼす修飾作用	石田 和慶	麻酔科蘇生科	1,700,000	補 委 財団法人やまぐち産業振興財団
神経作動薬を用いた脳腫瘍幹細胞ターゲット療法の開発	吉川 功一	麻酔科蘇生科	1,100,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
一過性脳虚血再灌流後の脳血管反応性変化に及ぼす活性酸素種の影響に関する研究	飯田 靖彦	麻酔科蘇生科	1,400,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
遅発性神経細胞死における細胞内エネルギー代謝調節酵素に関する研究	福田 志朗	麻酔科蘇生科	1,200,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

8/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
虚血性脳障害の分子機構における好中球エラスターゼの役割に関する検討	平田 孝夫	麻酔科蘇生科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
局所脳冷却による大脳神経生理機能の解明と制御ー臨床応用をめざしてー	鈴木 倫保	脳神経外科	3,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
QSPECTに基づく脳血管反応性改善の評価法の妥当性	鈴木 倫保	脳神経外科	1,700,000	補 委	国立循環器病センター
重症脳卒中における生命倫理に関する研究	鈴木 倫保	脳神経外科	800,000	補 委	国立循環器病センター
乳児期脊髄脂肪腫の自然歴および予防的手術の適用に関する研究	鈴木 倫保	脳神経外科	1,000,000	補 委	国立精神・神経センター
血管内微細振動子による血栓の破碎と低侵襲回収療法の開発	加藤 祥一	脳神経外科	700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
連続気孔構造を有する炭酸アパタイトフォームの顎骨再建材料としての有用性	上山 吉哉	歯科口腔外科	3,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
術中の頭位および顎位変化に即応できるリアルタイム口腔外科手術ナビゲーターの開発	森 悦秀	歯科口腔外科	3,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ギメラシルのDNA損傷応答を標的とした放射線増強効果とその治療応用への基礎的検討	三原 眞理子	歯科口腔外科	1,600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
網羅的プロテオーム解析とプロテオームデータベース構築による救命救急傷病の病態解明	前川 剛志	救急医学	23,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
新しい蘇生後脳症予後判定マーカーは善玉か悪玉か？	泉 友則	救急医学	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
脳の発達にとって良い環境と悪い環境が鑑別できるか？	富士岡 隆	救急医学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

9/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ICU入室患者に対するせん妄の新しい診断法の有用性と危険因子	鶴田 良介	先進救急医療センター	300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
心肺停止蘇生後における予後予測マーカー(GAP)の測定	金子 唯	先進救急医療センター	1,400,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
細胞表面抗原分子を標的とした免疫治療	日野田 裕治	臨床検査医学	9,000,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
高輝度LED技術を基盤とする低侵襲治療機器の開発(高演色性白色LEDを用いた内視鏡の開発と消化器疾患の診断・治療への応用)	檜垣 真吾	光学診療部	20,000,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
本邦における低用量アスピリンによる上部消化管合併症に関する調査研究-心筋梗塞、脳梗塞患者などの動脈血栓塞栓性疾患を対象として-(略称:MAGIC研究)	檜垣 真吾	光学診療部	1,600,000	補委 財団法人循環器病研究振興財団
エビデンスレベルの高い診断検査関連の研究論文作成支援システムの構築とその評価	石田 博	医療情報部	2,300,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
超音波組織トラッキングによる左室心基部と心尖部での拡張開始時相差と拡張機能の検討	村田 和也	検査部	2,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
進行肝細胞癌に対する腫瘍抗原mRNA導入樹状細胞療法	為佐 卓夫	手術部	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄虚血後の遅発性対麻痺の病態と炎症性メディエータの関与	山下 敦生	手術部	1,700,000	補委 文部科学省 科学研究費補助金
ウイルス由来のペプチドを利用した心臓標的療法の開発	河村 修二	臨床試験支援センター	1,600,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
双胎間輸血症候群の発症機序と病態の解明	中田 雅彦	周産母子センター	700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ヘモビジランスのための病院内輸血副作用監視体制に関する研究	藤井 康彦	輸血部	6,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金

1 研究費補助等の実績

10/10

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
テロの可能性のある病原体等の早期検知・迅速診断法の開発とその評価法の確立に関わる研究	尾家 重治	薬剤部	3,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
低頻度染色体異常児をもつ両親と看護師間における関係性の定量的評価法の確立	飯野 英親	看護部	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

計 2

合計 110

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価の実績

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Liver Int. 2008 Jan;28(1):117-25.	A new hepatic encephalopathy model to monitor the change of neural amino acids and astrocytes with behaviour disorder.	Isobe-Harima Y, Terai S, Miura I, et al.	第一内科
Mol Carcinog. 2008 Jan;47(1):1-8.	Hypermethylation status of APC inversely correlates with the presence of submucosal invasion in laterally spreading colorectal tumors.	Hashimoto K, Shimizu Y, Suehiro Y, et al.	第一内科
Gastroenterology. 2008 Jan;134(1):226-38.	Hepatitis C virus-induced reactive oxygen species raise hepatic iron level in mice by reducing hepcidin transcription.	Nishina S, Hino K, Korenaga M, et al.	第一内科
Liver Int. 2008 Jan;28(1):146-7.	Serum S100b (astrocyte-specific protein) is a useful marker of hepatic encephalopathy in patients with fulminant hepatitis.	Isobe-Harima Y, Terai S, Segawa M, Uchida K, Yamasaki T, Sakaida I.	第一内科
Biochem Biophys Res Commun. 2008 Mar 14;367(3):546-52.	Continuous high expression of XBP1 and GRP78 is important for the survival of bone marrow cells in CCl4-treated cirrhotic liver.	Marumoto Y, Terai S, Urata Y, et al.	第一内科
Gastrointest Endosc. 2008 Apr;67(4):723	Ulceration after arterial microcoil embolization.	Ooishi T, Nishikawa J, Satake M, Fukagawa Y, Okamoto T, Sakaida I.	第一内科
Liver Int. 2008 Sep;28(8):1158-66.	Mitochondrial electron transport inhibition in full genomic hepatitis C virus replicon cells is restored by reducing viral replication.	Ando M, Korenaga M, Hino K, et al.	第一内科
J Gastroenterol Hepatol. 2008 Sep;23(9):1349-53.	Autologous bone marrow cell infusion therapy for liver cirrhosis.	Sakaida I.	第一内科
Hepatol Res. 2008 Jun;38(6):557-64.	The efficacy of ursodeoxycholic acid and bezafibrate combination therapy for primary biliary cirrhosis: A prospective, multicenter study.	Iwasaki S, Ohira H, Nishiguchi S, Zeniya M, Kaneko S, Onji M, Ishibashi H, Sakaida I, Kuriyama S, Ichida T, Onishi S, Toda G; Study Group of Intractable Liver Diseases for Research on a Specific Disease, Health Science Research	第一内科
J Gastroenterol Hepatol. 2008 Jul;23(7 Pt 1):1046-50.	Prospective randomized study on the use of a computer-based endoscopic simulator for training in esophagogastroduodenoscopy.	Shirai Y, Yoshida T, Shiraishi R, et al.	第一内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Electrophoresis. 2008 Aug;29(15):3192-200.	Epstein-Barr virus upregulates phosphorylated heat shock protein 27 kDa in carcinoma cells using the phosphoinositide 3-kinase/Akt pathway.	Fukagawa Y, Nishikawa J, Kuramitsu Y, et al.	第一内科
Hepato Res. 2008 Nov;38(11):1087-97.	Effects of a late evening snack combined with alpha-glucosidase inhibitor on liver cirrhosis.	Korenaga K, Korenaga M, Uchida K, Yamasaki T, Sakaida I.	第一内科
Oncol Rep. 2008 Oct;20(4):761-5.	Relation between serum levels of cell-free DNA and inflammation status in hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	Iida M, Iizuka N, Sakaida I, et al.	第一内科
Am J Clin Oncol. 2008 Aug;31(4):311-6.	Pilot study of combination therapy with transcatheter arterial infusion chemotherapy using iodized oil and percutaneous radiofrequency ablation during occlusion of hepatic blood flow for hepatocellular carcinoma.	Shiraishi R, Yamasaki T, Saeki I, Okita K, Yamaguchi Y, Uchida K, Terai S, Sakaida I.	第一内科
Methods Inf Med. 2008;47(6):529-40.	Validating a Markov model of treatment for hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	Ishida H, Wong JB, Hino K, et al.	第一内科
Hepato gastroenterology. 2008 Sep-Oct;55(86-87):1503-8.	Expression of vascular endothelial growth factor C is a prognostic indicator in esophageal cancer.	Okazawa T, Yoshida T, Shirai Y, et al.	第一内科
Circ J	Regulation of Cardiac Regeneration by ACE Inhibition Following Donor Heart Myocardial Infarction After Heterotopic Transplantation in Tg Mice	Atsushi Matsushima, Hiroshi Nakamura, Seiji Umemoto, Masunori Matsuzaki	第二内科
Circ J	Defective Ca ²⁺ Cycling as a Key Pathogenic Mechanism of Heart Failure	Masafumi Yano, Takeshi Yamamoto, Shigeki Kobayashi, Yasuhiro Ikeda, Masunori	第二内科
Cardiovasc Res	Defective domain-domain interactions within RyR2 as a critical cause of diastolic Ca ²⁺ leak in failing hearts	Hiroki Tateishi, Masafumi Yano, Takeshi Suetomi, Makoto Ohno, XiaoJuan Xu, Hitoshi Uchinomi, Shinichi Okuda, Tetsuro Oda, Shigeki Kobayashi, Takeshi Yamamoto, Yasuhiro Ikeda, Tomoko Ohkusa, Noriaki Ikemoto, Masunori Matsuzaki	第二内科
J Cardiol	Role of ryanodine receptor as a Ca ²⁺ regulatory center in normal and failing hearts	Masafumi Yano, Takeshi Yamamoto, Shigeki Kobayashi, Masunori Matsuzaki	第二内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Circ J	Effects of aldosterone on Cx43 gap junction expression in neonatal rat cultured cardiomyocytes	Shinsuke Suzuki, Tomoko Ohkusa, Takashi Sato, Masa-aki Yoshida, Kenji Yasui, Keiko Miwa, Jong-Kook Lee, Masafumi Yano, Itsuo Kodama, Masunori Matsuzaki	第二内科
Biochem Biophys Res Commun. 2008	Identification of Glypican3 as a novel GLUT4-binding protein.	Taguchi A	第三内科
Tohoku J Exp Med. 2008	Allogeneic peripheral blood stem cell transplantation from related donors mismatched at 2 HLA loci in the host-versus-graft direction.	Ando T	第三内科
J Comp Neurol. 2008	Wolfram syndrome 1 (Wfs1) gene expression in the normal mouse visual system.	Tanizawa Y	第三内科
Diabetes.58(2):377-384	DOC2B: a novel syntaxin-4 binding protein mediating insulin-regulated GLUT4 vesicle fusion in adipocytes.	Fukuda N	第三内科
Diabetologia. 52(4):653-663	Increased insulin demand promotes while pioglitazone prevents pancreatic beta cell apoptosis in Wfs1 knockout mice.	Akiyama M	第三内科
J Cell Physiol	Peripheral nerve pericytes originating from the blood-nerve barrier expresses tight junctional molecules and transporters as barrier-forming cells.	Shimizu F, et al	神経内科
BRAIN and NERVE	拘束性換気障害を呈したdiffuse idiopathic skeletal hyperostosis.	安部真彰	神経内科
末梢神経	腓腹神経のSchwann細胞・神経周膜細胞胞体内に脂肪沈着を認める軸索障害型感覚ニューロパチー.	前田敏彦	神経内科
臨床神経学	胸椎圧迫骨折を契機に増悪した左下肢有痛性筋痙攣に対し交感神経節ブロックが奏功した70歳男性例.	清水文崇	神経内科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
BRAIN and NERVE	広範な大脳病変を呈し、脳生検組織を用いたPCR法により確定診断に至った遷延性単純ヘルペス脳炎の61歳女性例.	清水文崇	神経内科
Journal of Psychiatric Research, 42; 1145-1153, 2008.	Altered expression of neurotrophic factors in patients with major depression.	Otsuki K., Uchida S., Watanuki T., Wakabayashi Y., Matsubara T., Funato H., Fujimoto M., Watanabe Y.	精神科
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry, 32; 1199-1205, 2008.	State-dependent changes in the expression levels of NCAM-140 and L1 in the peripheral blood cells of bipolar disorders, but not in the major depressive disorders.	Wakabayashi Y., Uchida S., Funato H., Matsubara T., Watanuki T., Otsuki K., Fujimoto M., Nishida A., Watanabe Y.	精神科
Neuroscience Letter, 438; 196-199, 2008.	Reduced expression of glyoxalase-1 mRNA in mood disorder patients.	Fujimoto M., Uchida S., Watanuki T., Wakabayashi Y., Otsuki K., Matsubara T., Suetsugi M., Funato H., Watanabe Y.	精神科
European Journal of Neuroscience, 27; 623-629, 2008.	Characterization of the vulnerability to repeated stress in Fischer344 rats; possible involvement of microRNA-mediated down-regulation of the glucocorticoid receptor.	Uchida S., Nishida A., Hara K., Kamemoto T., Suetsugi M., Fujimoto M., Watanuki T., Wakabayashi Y., Otsuki K., McEwen B.S., Watanabe Y.	精神科
J Infect. 2008 May	Cerebrospinal fluid levels of matrix metalloproteinase-9 and tissue inhibitors of metalloproteinases 1 in subacute sclerosing panencephalitis.	Ichiyama T	小児科
J Neuroimmunol. 2008 May	Soluble tumor necrosis factor receptor 1 and tissue inhibitors of metalloproteinases-1 in hemolytic uremic syndrome with encephalopathy.	Shiraishi M	小児科
J Neuroimmunol. 2008 Dec	CSF neurofilament and soluble TNF receptor 1 levels in subacute sclerosing panencephalitis.	Matsushige T	小児科
J Infect. 2009 Jan	Mononuclear cell subpopulations in CSF and blood of children with bacterial meningitis.	Ichiyama T	小児科
Steroid Biochem Mol Biol. 2009 Jan	Anti-inflammatory effect of $1\alpha, 25$ -dihydroxyvitamin D_3 in human coronary arterial endothelial cells: implication for treatment of Kawasaki disease.	Suzuki Y	小児科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cell Transplantation	Myocardial repair achieved by the intramyocardial implantation of adult cardiomyocytes in combination with bone marrow cells	Tao-Sheng Li	第一外科
Circulation Journal	Transient increase of cytokines in the acute ischemic tissue is beneficial to cell-based therapeutic angiogenesis	Shu-Lan Qin	第一外科
Circulation Journal	Antioxidant therapy attenuates diabetes-related impairment of bone marrow stem cells	Mako Ohshima	第一外科
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Computed tomographic angiography to evaluate the right gastroepiploic artery for coronary artery bypass grafting	Toshiro Kobayashi	第一外科
European Journal of Cardio-thoracic Surgery	Quantitative computed tomography for the prediction of pulmonary function after lung cancer surgery: a simple method using simulation software	Kazuhiro Ueda	第一外科
Int J Oncol. 2008 Oct;33(4):725-31.	Glycolysis module activated by hypoxia-inducible factor 1alpha is related to the aggressive phenotype of hepatocellular carcinoma.	Hamaguchi T	第二外科
Oncol Rep. 2008 Oct;20(4):761-5.	Relation between serum levels of cell-free DNA and inflammation status in hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma	Iida M	第二外科
Int J Oncol. 2008 Nov;33(5):949-58.	Identification of novel aberrant methylation of BASP1 and SRD5A2 for early diagnosis of hepatocellular carcinoma by genome-wide search.	Moribe T	第二外科
Oncol Rep. 2008 Jul;20(1):155-63.	Adoptive Immunotherapy for Pancreatic Cancer: Cytotoxic T lymphocytes Stimulated by MUC1-expressing Human Pancreatic Cancer Cell Line YPK-1.	Kawaoka T	第二外科
Cancer Sci. 2008 Apr;99(4):659-65.	Translational microarray systems for outcome prediction of hepatocellular carcinoma.	Iizuka N	第二外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Neurosci Methods 2008;30:167(2):317-26	Neuromuscular electrical stimulation induced forelimb movement in a rodent model.	Kanchiku T	整形外科
J Neurosurg Spine 2008; 8:436-441	Biomechanical study of cervical flexion myelopathy using three-dimensional finite element method.	Kato Y	整形外科
J Neurosurg Spine 2008;9:180-185	Dynamiic electrophysiological examination of cervical flexion myelopathy.	Kato Y	整形外科
J Plast Reconstr Aesthet Surg 2008;61(9):1009- 1015	Chimerism studies as an approach for the induction of tolerance to extremity allografts.	Muramatsu K	整形外科
J Surg Res. 2008 Jul 21. [Epub ahead of print] PubMed PMID: 19201424.	Intragaft Chimerism Following Composite Tissue Allograft.	Muramatsu K	整形外科
日本レーザー医学会誌 2009年	山口大学皮膚科におけるPDTおよびPDD症例の検討	中村好貴、山口道也、寺本由紀子、一宮誠、武藤正彦	皮膚科
Arch. Dermatol. Res., 2009	Ethnic differences in immunogenetic Features and photosensitivity of cutaneous lupus erythematosus.	Furukawa F., Muto M.	皮膚科
Bull. Yamaguchi Med. Scl., in press	HSF1 is important for protection of mouse epidermal cells against heat stress.	Nakamura, C., Nakamura Y., Gondo T., Takaki E., Fujimoto M., Inoue S., Nakai A., Muto M.	皮膚科
Bull. Yamaguchi Med. Scl., in press	A possible association of single-nucleotide polymorphisms in the alpha-helix coiled-coil rod homologue gene with psoriasis in a Japanese population.	Yamaguchi M., Tanaka A., Muto M.	皮膚科
時間学、印刷中	ヒト主要組織適合抗原系 (human leukocyte antigen system A:HLA)の遺伝学的研究	武藤正彦	皮膚科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
BJU International	Clinical significance of lymphovascular invasion in upper urinary tract urothelial cancer.	Jumpei Akao	泌尿器科
International Journal of Urology	Risk of concomitant carcinoma in situ determining biopsy candidates among primary non-muscle-invasive bladder cancer patients: retrospective analysis of 173 Japanese cases.	Tomohiko Hara	泌尿器科
International Journal of Urology	Discrepancies between cytology, cystoscopy and biopsy in bladder cancer detection after Bacille Calmette-Guerin intravesical therapy.	Tomohiko Hara	泌尿器科
Oncology	Cytogenetic analysis of false positive mucosa by photodynamic diagnosis using 5-aminolevulinic acid-Possible existence of premalignant genomic alterations examined by in vitro experiment-.	Hideyasu Matsuyama	泌尿器科
International Journal of Urology	Tumor-infiltrating lymphocytes derived from human renal cell carcinoma: Clonal analysis of its characteristics	Tomoyuki Shimabukuro	泌尿器科
Neoplasia	DNA repair gene polymorphisms may be associated with prognosis of upper urinary tract transitional cell carcinoma	Miwa Sasaki	泌尿器科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Induction by Latanoprost of Collagen Gel Contraction Mediated by Human Tenon Fibroblasts: Role of Intracellular Signaling Molecules	Yang Liu	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Protection of human corneal epithelial cells from hypoxia-induced disruption of barrier function by keratinocyte growth factor.	Shinichiro Teranishi	眼科
British Journal of Ophthalmology	Open clinical study of eyedrops containing tetrapeptides derived from substance P and IGF-1 for treatment of persistent corneal epithelial defects associated with neurotrophic keratopathy	Naoyuki Yamada	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Cytokine, Chemokine, and Adhesion Molecule Expression Mediated by Mitogen-Activated Protein Kinases in Human Corneal Fibroblasts Exposed to Poly(I:C)	Yang Liu	眼科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochemical and Biophysical Research Communications	Up-regulation of Semaphorin3A in human corneal fibroblasts by epidermal growth factor released from cocultured human corneal epithelial cells.	Ji-Ae Ko	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Inhibition by a Selective I κ B Kinase-2 Inhibitor of Interleukin-1-Induced Collagen Degradation by Corneal Fibroblasts in Three-Dimensional Culture.	Yukiko Kondo	眼科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Interleukin-1 β -Induced Disruption of Barrier Function in Cultured Human Corneal Epithelial Cells	Kazuhiro Kimura	眼科
BRAIN RESEARCH 212:9-17,2008	Attenuation of progressive hearing loss in a model of age-related hearing loss by a heat shock protein inducer, geranylgeranylacetone.	Takefumi Mikuriya, Kazuma Sugahara, Kazutaka Sugimoto, et al.	耳鼻咽喉科
THE BULLETIN OF THE YAMAGUCHI MEDICAL SCHOOL 55:15-20,2008	The Free Radical Scavenger Edaravone Protects Hair Cells against Aminoglycoside Toxicity.	Tsuguyuki Arai, Kazuma Sugahara, Takefumi Mikuriya, et al.	耳鼻咽喉科
Acta Oto-Laryngologica 128:1071-1076, 2008	Effect of water-soluble coenzyme Q10 on noise-induced hearing loss in guinea pigs.	Yoshinobu Hirose, Kazuma Sugahara, Takefumi Mikuriya, et al.	耳鼻咽喉科
Ann Nucl Med 2008;22(5):339-347	Assessment of anatomic relation between pulmonary perfusion and morphology in pulmonary emphysema with breath-hold SPECT-CT fusion images	Kazuyoshi Suga, Yasuhiko Kawakami, Hideyuki Iwanaga, Noriko Hayashi, Sayaka Seto, Naofumi Matsunaga	放射線科
Ann Nucl Med 2009; 23(4):399-407	Differentiation of FDG-avid loco-regional recurrent and compromised benign lesions after surgery for breast cancer with dual-time point F-18-fluorodeoxy-glucose PET/CT scan	Kazuyoshi Suga, Yasuhiko Kawakami, Atsuto Hiyama, Naofumi Matsunaga	放射線科
AJR 2008;191:550-554	Portal venous system: Evaluation with unenhanced MR angiography with a single-breath-hold ECG-synchronized 3D half-fourier fast spin-echo sequence	Katsuyoshi Ito, Shinji Koike, Ayame Shimizu, Masahiro Tanabe, Chisaki Jo, Mitsue Miyazaki, Naofumi Matsunaga	放射線科
Journal of Computer Assisted Tomography. 2008;32(3):397-402	Superselective intra-arterial chemotherapy for advanced maxillary sinus cancer: An evaluation of arterial perfusion with computed tomographic arteriography and of tumor response.	Etsushi Iida, Munemasa Okada, Toshifumi Mita, Matakazu Furukawa, Katsuyoshi Ito, Naofumi Matsunaga	放射線科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Imaging 2008;32:303-309	Magnetic resonance imaging characteristics of tuberculous spondylitis vs. pyogenic spondylitis	Yuko Harada, Osamu Tokuda, Naofumi Matsunaga	放射線科
Human Reproduction 24: 1126-1132. 2009	DNA methyltransferase expression in the human endometrium: down-regulation by progesterone and estrogen.	Yamagata Y, Asada H, Tamura I, Lee L, Maekawa R, Taniguchi K, Taketani T, Matsuoka A, Tamura H, Sugino N	産婦人科
Molecular Human Reproduction 15: 259-267. 2009	Aberrant DNA methylation status in human uterine leiomyoma.	Yamagata Y, Maekawa R, Asada H, Taketani T, Tamura I, Tamura H, Ohgane J, Hattori N, Shiota K, Sugino N	産婦人科
Fertility and sterility 91: 998-1004. 2009	Pathophysiological features of thin endometrium.	Miwa I, Tamura H, Takasaki A, Yamagata Y, Shimamura K, Sugino N	産婦人科
Fertility and sterility 90: 2334-2339. 2008	Changes in blood flow impedance of the human corpus luteum throughout the luteal phase and during early pregnancy.	Tamura H, Takasaki A, Taniguchi K, Matsuoka A, Shimamura K, Sugino N	産婦人科
Molecular Human Reproduction 14: 539-545. 2008	Potential link between estrogen receptor- α gene hypomethylation and uterine fibroid formation.	Asada H, Yamagata Y, Taketani T, Matsuoka A, Tamura H, Hattori N, Ohgane J, Hattori N, Shiota K, Sugino N	産婦人科
Journal of pineal research 45: 101-105, 2008.	Melatonin treatment in peri- and postmenopausal women elevates serum high-density lipoprotein cholesterol levels without influencing total cholesterol levels.	Tamura H, Nakamura Y, Narimatsu A, Yamagata Y, Takasaki A, Reiter RJ, Sugino N	産婦人科
Fertility and sterility 90: 744-748.	Effects of growth hormone and insulin-like growth factor I on progesterone production in human luteinized granulosa cells.	Taketani T, Yamagata Y, Takasaki A, Matsuoka A, Tamura H, Sugino N	産婦人科
Brain Research 1259:98-106, 2009	Neutrophil elastase inhibitor attenuates hippocampal neuronal damage after transient forebrain ischemia in rats.	Hiroaki Matayoshi, Takao Hirata, Satoshi Yamashita, Kazuyoshi Ishida, Yoichi Mizukami, Toshikazu Goondo, Mishiya Matsumoto, Takefumi Sakabe	麻酔科蘇生科
Acta Neurochir 150: 31- 39, 2008	Side selection of pterional approach for anterior communicating artery aneurysms—surgical anatomy and strategy	M. Suzuki	脳神経外科

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Spinal Surgery 22: 38-40, 2008	Obstruction of the Cerebrospinal Fluid Pathway due to Anterior Longitudinal Epidural Venous Plexus in a Patient with a Large Posterior Fossa Arachnoid Cyst	Tatsuo Akimura	脳神経外科
J. Neurosurg 108:791-797, 2008	Effective suppression of hippocampus seizures in rats by direct hippocampus cooling with a Peltier chip	Nobuhiro Tanaka	脳神経外科
Acta Neurologica Scandinavica 118: 54-59, 2008	Does eicosapentaenoic acid(EPA) inhibit cerebral vasospasm after aneurysmal subarachnoid hemorrhage?	H. Yoneda	脳神経外科
脳神経外科速報 18:1386-1391, 2008	局所脳冷却によるてんかん治療	藤井正美	脳神経外科
日本集中治療医学会雑誌	血管内冷却システムによる心肺蘇生後脳低温療法—体表冷却との冷却効果の比較—	金田浩太郎, 金子唯, 小田泰崇, 井上健, 鶴田良介, 笠岡俊志, 前川剛志	先進救急医療センター
ICUとCCU	慢性疾患合併敗血症症例におけるACTH負荷試験の反応性	宮内崇, 鶴田良介, 笠岡俊志, 前川剛志	先進救急医療センター
Arthritis and Rheumatism	Activation of synovial promoter in rheumatoid synovial cells by a novel transcription complex of interleukin enhancer binding factor 3 and GA binding protein α .	Izumi T, Fujii R, Izumi T, Nakazawa M, Yagishita N, Tsuchimochi K, Yamano Y, Sato T, Fujita H, Aratani S, Araya N, Azakami K, Hasegawa D, Kasaoka S, Tsuruta R, Yokouti M, Ijiri K, Beppu M, Maruyama I, Nishioka K, Maekawa T, Komiya S, Nakajima T	先進救急医療センター
Resuscitation	The cutoff values of intrathecal interleukin 8 and 6 for predicting the neurological outcome in cardiac arrest victims.	Yasutaka Oda, Ryosuke Tsuruta, Shunji Kasaoka, Takeshi Inoue, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
日本臨床救急医学会雑誌	山口県における市民による除細動プログラムの検証	金田浩太郎, 笠岡俊志, 石川慎太郎, 金子唯, 小田泰崇, 井上健, 鶴田良介, 前川剛志	先進救急医療センター
Pediatric pulmonology 44: 267-272. 2009	MMP-9 and TIMP-1 in the cord blood of premature infants developing BPD.	Fukunaga S, Ichiyama T, Maeba S, Okuda M, Nakata M, Sugino N, Furukawa S.	周産母子センター

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Journal of obstetrics and gynaecology research 34: 649-652. 2008	Fetoscopic lazer photocoagulation of placental communicating vessels for twin reversed-arterial perfusion sequence.	Nakata M, Sumie M, Murata S, Miwa I, Matsubara M, Sugino N	周産母子センター
Prenatal diagnosis 10.1002/pd 2128. 2008	Resolution of mirror syndrome after successful fetoscopic laser photocoagulation of communicating placental vessels in severe twin-twin transfusion syndrome.	Matsubara M, Nakata M, Murata S, Miwa I, Sumie M, Sugino N	周産母子センター
Ann Nucl Med 2009;23(4):413-419	Findings of hepatopulmonary syndrome on breath-hold perfusion SPECT-CT fusion images	Kazuyoshi Suga, Yasuhiko Kawakami, Hideyuki Iwanaga, Osamu Tokuda, Naofumi Matsunaga	放射線部
Acta Radiol 2009;50:34-41	Functional mechanism of lung mosaic CT attenuation: Assessment with deep-inspiration breath-hold perfusion SPECT-CT fusion imaging and non-breath-hold technegas SPECT	Kazuyoshi Suga, Yasuhiko Kawakami, Hideyuki Iwanaga, Osamu Tokuda, Naofumi Matsunaga	放射線部
Magnetic Resonance Imaging 27 2009:801-806	Hepatocellular lesions with increased iron uptake on superparamagnetic iron oxide-enhanced magnetic resonance imaging in cirrhosis or chronic hepatitis: comparison of four magnetic resonance sequences for lesion conspicuity	Masahiro Tanabe, Katsuyoshi Ito, Ayame Shimizu, Takeshi Fujita, Hideko Onoda, Shigenari Yamatogi, Yasuo Washida, Naofumi Matsunaga	放射線部
Magnetic Resonance Imaging 2008;(26)65-71	Small hepatocellular carcinomas in cirrhosis: differences in contrast enhancement effects between helical CT and MR imaging during multiphasic dynamic imaging	Minoru Hayashida, Katsuyoshi Ito, Takeshi Fujita, Ayame Shimizu, Katsumi Sasaki, Masahiro Tanabe, Naofumi Matsunaga	放射線部
J Vasc Intervent Radiol 2008; 19:333-341	Iodized oil accumulation in hypervascular hepatocellular carcinoma after transcatheter arterial chemoembolization: Comparison of imaging findings with CT during hepatic arteriography.	Takeshi Fujita, Katsuyoshi Ito, Masahiro Tanabe, Shigenari Yamatogi, Hideko Sasai, Naofumi Matsunaga	放射線部
The Food Hygienics Society of Japan, 49(4), 308-310, 2008	Microbiological safety of bottled mineral water in patients susceptible tu infections	Shigeharu Oie, Yuuki Matsuzaka, Hiroko Kiyonaga, Kumiko Maeda, Akira Kamiya	薬剤部
医療薬学, 34(9), 860-864, 2008	各種塩酸バンコマイシン注射剤の品質比較	山崎博史, 宮野直之, 尾家重治, 神谷 晃	薬剤部

計 9

合計 109

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長 松 崎 益 徳
管理担当者氏名	総務課長 小 野 潔 医事課長 伊 藤 哲 雄

		保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録	病院日誌	総務課	カルテは入院，外来別に1患者1ファイル方式として，保存整理している。
	処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医事課	
	各科診療日誌、エックス線写真	各診療科	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	学術研究部産学連携課 宇部地区研究支援室	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課	
確規 保則 の第 9 状 況 条 の 2 3 及 び 第 1 条 の 1 1 各 号 に 掲 げ る 体 制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医事課
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医事課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全推進室
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全推進室
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全推進室
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全推進室
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器管理センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理センター
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理センター		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理センター		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病 院 長 松 崎 益 徳
閲覧担当者氏名	総 務 課 長 小 野 潔 医 事 課 長 伊 藤 哲 雄
閲覧の求めに応じる場所	医 学 部 本 館 2 階 閲 覧 室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	68.7 %	算 定 期 間	平 成 20 年 4 月 1 日 ~ 平 成 21 年 3 月 31 日
算 出 根 拠	A : 紹 介 患 者 の 数	9,839 人	
	B : 他 の 病 院 又 は 診 療 所 に 紹 介 し た 患 者 の 数	5,287 人	
	C : 救 急 用 自 動 車 に よ っ て 搬 入 さ れ た 患 者 の 数	1,215 人	
	D : 初 診 の 患 者 の 数	18,495 人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

$$\frac{A+B+C}{B+D} = \frac{9839+5287+1215}{5287+18495} = \frac{16341}{23782} = 68.7$$

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任 (2) 名 兼任 (1) 名・ 活動の主な内容： (医療安全推進室)<ol style="list-style-type: none">(1) 医療安全管理委員会から提案された医療安全業務の実施に関すること(2) アクシデント・インシデント報告の分析並びに再発防止策等の検討, 提言に関すること(3) 医療の安全管理に係る教育・研修の企画・立案及び広報, 啓発に関すること(4) 患者や家族への説明等, 事故発生時の対応状況についての確認等に関すること(5) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること(6) リスクマネジャーとの連絡調整に関すること	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 本院の医療事故防止及び医療の安全管理に関する総合的な体制整備等について(2) 医療事故防止のための安全管理及び医療事故発生時の対応に関すること(3) 医療安全・事故等の防止に関する事項について, 病院全体で取り組みための委員会及び推進室の設置並びに業務内容・規程整備等について(4) 医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催することについて	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 医療事故の未然防止のための具体的方策・実施計画の策定(2) リスクマニュアル, インフォームド・コンセントの整備・監修, リスクマネジャーの統括(3) アクシデント・インシデント報告の分析, フィードバック(4) 医療事故防止のため, 職員に対する指導及び教育・研修の企画・立案(5) 医療安全推進室から提言された医療安全に関する事項の検討	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 0 回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">(1) 医師, 看護師及びコメディカルスタッフの全員を対象に, 診療現場で生じる様々な事象を取り上げて, 医療事故を未然に防ぐことを目的に院内講師による講習会を 1 回実施した。また, 学外講師を招聘して裁判事例や社会情勢についての講習会を 1 回実施した。(2) 各診療科, 看護部, 各部の技師等リスクマネジャーの研修を定期的に月 1 回開催し, インシデント等を分析しながら, 教育・指導を行い, 各リスクマネジャーが各部署にフィードバックを行った。(3) 卒後臨床研修医に対し, 医師としての心構え (患者への対応など) をはじめ, 他職種との連携など相対的な部分と医師が起こしやすい事例などを挙げて 2 回実施した。(4) コメディカル・病棟クランク・看護助手に対し, 基本的な安全管理に関して 1 回実施した。(5) 1 年目の看護師を対象に, 看護師の業務を中心に医療事故防止策・医療の安全について研修を 1 回実施, 医療の安全管理について, 振り返りの研修を 1 回実施した。(6) 新規採用医師を対象に, 特に医師が起こしやすい事例を参考に薬剤関係, 輸血, インフォームド・コンセント及び救急対応等の安全管理を中心に 1 回実施した。	

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
医療安全推進室において、アクシデント・インシデント報告について分析・再発防止策等の検討を行い、医療安全推進室会議及び医療安全管理委員会に提示して、審議のうえ決定され、リスクマネジャー連絡会議等で、教育・指導を行い再発防止策等の決定事項を周知した。

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 感染対策に関する基本的考え方 ② 医療関連感染対策のための委員会の組織に関する基本的事項 ③ 医療関連感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 ④ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 ⑤ 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針 ⑥ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ⑦ 本病院における医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>以下の事項の審議を行う</p> <p>① 感染の予防に関すること ② 予防対策実施の指導に関すること ③ 感染予防の教育に関すること ④ 職員の検診とその実施に関すること ⑤ 検診結果に基づく判定及び事後指導に関すること ⑥ 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること ⑦ 山口大学医学部附属病院感染制御室の管理及び運営に関すること</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>① 医療関連感染防止のための基本的知識の習得 ② 処置別感染防止のための基本的知識の習得と最新の情報を知る ③ 抗菌薬の適正使用に関連したこと ④ 職業感染対策について</p>	
<p>④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況</p> <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>収集した各データや問題点を ICT 会にて検討している。 対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案、協議をしている。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無																				
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回																				
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="1" data-bbox="185 495 1351 781"> <thead> <tr> <th>研修日</th> <th>対象者</th> <th>研修内容</th> <th>講師等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20. 04. 02</td> <td>新任看護師</td> <td>薬剤部の機構と運営</td> <td>副薬剤部長</td> </tr> <tr> <td>20. 04. 03</td> <td>研修医</td> <td>麻薬の取り扱いについて 処方箋の取り扱いについて</td> <td>薬剤部長</td> </tr> <tr> <td>20. 05. 08</td> <td>新規（中途） 採用医師等</td> <td>くすりによる事故を起こさないために</td> <td>副薬剤部長</td> </tr> <tr> <td>20. 10. 15</td> <td>新任看護師</td> <td>臨床に役立つ薬剤に関するリスク管理</td> <td>注射調剤主査</td> </tr> </tbody> </table>		研修日	対象者	研修内容	講師等	20. 04. 02	新任看護師	薬剤部の機構と運営	副薬剤部長	20. 04. 03	研修医	麻薬の取り扱いについて 処方箋の取り扱いについて	薬剤部長	20. 05. 08	新規（中途） 採用医師等	くすりによる事故を起こさないために	副薬剤部長	20. 10. 15	新任看護師	臨床に役立つ薬剤に関するリスク管理	注射調剤主査
研修日	対象者	研修内容	講師等																		
20. 04. 02	新任看護師	薬剤部の機構と運営	副薬剤部長																		
20. 04. 03	研修医	麻薬の取り扱いについて 処方箋の取り扱いについて	薬剤部長																		
20. 05. 08	新規（中途） 採用医師等	くすりによる事故を起こさないために	副薬剤部長																		
20. 10. 15	新任看護師	臨床に役立つ薬剤に関するリスク管理	注射調剤主査																		
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況																					
<p>・ 手順書の作成 （ 有 ・ 無 ）</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 医薬品の採用・購入に関する事項 医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等） 患者の持参薬歴等の収集方法、処方箋の記載方法 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項 医薬品の安全使用にかかる情報の取り扱いに関する事項 他施設（病院等、薬局等）との連携に関する事項 																					
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況																					
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有 ・ 無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>（情報収集の方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬品メーカー・製薬会社からの情報提供 薬剤師会等からの情報提供 インターネットを使用し、医薬品の安全使用のための情報収集 医療安全推進室と連携し、他病院の事故事例の収集 <p>（情報の周知方法）</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬剤部より「薬剤部だより」「DI月報」を発行している。 リスクマネジャー連絡会議などを通じて事故防止・対策の周知を行っている。 																					

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年19回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医療機器の有効性・安全性に関する事項 使用方法に関する事項 保守点検に関する事項 不具合等が発生した場合の対応に関する事項 特に法令上遵守すべき事項 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (☑・無) ・ 保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 血液浄化装置，人工呼吸器，閉鎖式保育器，人工心肺装置，補助循環装置，除細動器，ライナック，RALS 中央管理している輸液ポンプ，シリンジポンプ等並びに年間保守契約しているCT等以外の機器は，修理時にスポットで実施している。 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 情報の周知を図るとともに，安全使用の意識の向上を図るため，「MEだより」や「医療機器安全ニュース」を発行している。 	